

強行2カ月 戦争法廃止へ全国で行動

国会前9000人「野党は共闘」コール

赤旗 2015年11月20日(金)



(写真)「戦争法廃止」「安倍政権退陣」と訴える人たち=19日、国会正門前

「平和をつくろう。いまこそ、ともに声をあげよう」。集会やパレード、商店街でのリレートーク、宣伝・署名…。戦争法廃止と安倍政権の退陣を迫る「19日行動」が、北海道から鹿児島まで列島各地で多彩におこなわれました。戦争法が強行された9月19日を忘れず、国民運動で必ず廃止に追い込もうと、総がかり行動実行委員会が全国に呼びかけたものです。

国会正門前では、9000人（主催者発表）が参加し、「憲法破壊 絶対反対」「野党は共闘」の大合唱が響き渡りました。主催は、総がかり行動実行委員会です。「安倍内閣退陣」などと書かれたプラカード。野党の国会議員、学者、弁護士らが次つぎとあいさつ。「廃止まで声をあげ続けよう」との声が続ぎました。

主催者あいさつした長尾ゆりさん（憲法共同センター）は、戦争法の廃止を求める署名について「待ちに待った署名です。世代、党派を超えて、職場や地域で必ず2000万人

集めきりましょう」と呼びかけました。

佐賀県小城市から初めて国会前のデモに参加した74歳と58歳の夫妻。「これだけの人が怒ってたたかおうとする熱気をひしひし感じ、感動しました。今日のために『小城9条の会』ののぼりとTシャツを作りました。地元に戻って盛り上がりを伝え、運動を大きくしていきたい」と語りました。

日本共産党、民主党、社民党の国会議員があいさつしました。

共産党の井上哲士参院議員は「憲法と民主主義をじゅうりんする安倍政権をこのままに はいけません。カギは国民の声と運動です。みんなの力で自公を少数に追い込みましょう」と訴えました。

赤旗 2015年11月20日(金)

5団体と野党5党意見交換 戦争法廃止の世論と運動を 懇談のペースアップを確認

戦争法（安保法制）廃止と立憲主義・民主主義を取り戻すための今後の取り組みについて、戦争法に反対してきた5団体と日本共産党や民主、維新、社民、生活の野党5党は19日、国会内で意見交換会を行いました。10月16日に続き2回目。来夏の参院選に向け、戦争法廃止の世論と運動を大きく盛り上げ、憲法違反の戦争法を強行した与党を過半数割れに追い込むことなどが議論され、懇談をペースアップしていくことが確認されました。



(写真) 安保法制に反対する諸団体と野党の意見交換会＝19日、衆院第1議員会館

各団体の代表は、「戦争法の成立への挫折感よりも、運動の高揚への確信が広がっている」

など、戦争法廃止の運動の広がりを報告。総がかり行動実行委員会を含む29団体が呼びかけた「戦争法廃止を求める2000万統一署名」の推進や立憲デモクラシー連続講座の開催、学者・学生・高校生、市民の共同集会の開催、戦争法が強行された19日を忘れないイベントの展開など、今後の多様な取り組みが提起されました。

日本共産党からは山下芳生書記局長、穀田恵二国対委員長、畑野君枝衆院議員が出席。山下氏は、日本共産党が提案した戦争法廃止の「国民連合政府」について「野党間で誠実に話し合いを続けている」とする一方、「大きな仕事で、簡単にすいすいとはいかない。こういう懇談や世論と運動で大きく盛り上げていただき、プッシュしてもらうことがハードルを乗り越える一番の力となる」と述べました。

そのうえで山下氏は、「2000万統一署名」について、「まさにオール反安保法制の陣営が整って、運動の形態が示された。これから運動を進めていく上での要になる」と強調し、党として1000万の目標を掲げたと述べました。

民主党の枝野幸男幹事長は、「来年の参院選が立憲主義と民主主義を守る大事なたたかい。安倍政治を許さない思いを持つ国民とともにたたかう選挙にする」と述べました。

意見交換の中で、「国民連合政府」構想などをめぐり、市民側から野党結集を加速させるための受け皿づくりなど積極的な知恵を出す必要があると提起されました。これに対し山下氏は、「戦争法の廃止、閣議決定の撤回、立憲主義回復という目標で、自民、公明を少数派に転落させる点は一致できる。野党協力の知恵については政党として受け止め、考える必要がある」と述べました。

赤旗 2015年11月20日(金)

野党5党1会派が共同街宣

臨時国会拒否を批判

野党5党1
会派の書記局
長・幹事長ら
は19日、東
京・有楽町で
共同街頭演説
会を開催し、
臨時国会召集
要求を拒否す
る政府・与党
を批判し、連
携を強めて断
固開催を求め
る決意を表明
しました。

野党側が憲
法53条にも

とつき臨時国会を要求していますが、政府・与党は首相の外交日程を口実に拒否しつづけています。

日本共産党の山下芳生書記局長は「戦争法など自分が法案を通したいときは思い切って長く国会を開くのに、野党が国民の声を代表して要求すると拒否する。こんな姿勢は憲法の前では通用しません。民主主義の前では通用しません」と訴え、聴衆は拍手で応えました。

枝野幸男・民主党幹事長、今井雅人・維新の党幹事長、玉城デニー・生活の党幹事長、吉川元・社民党幹事長代行、水野賢一・無所属クラブ代表が訴えました。買い物中に足を止めた女性（64）は、「首相のやりたい放題は本当に目に余る。いまこそ野党にしっかりスクラムを組んでほしい」と語りました。

赤旗 2015年11月19日(木)

戦争法強行2カ月

2000万署名で「安倍退陣」を

「19日行動」全国各地で

戦争法が強行されてから19日で2カ月がたちますが、戦争法廃止と安倍政権退陣を迫



(写真) 結束をアピールする (左から) 生活・玉城幹事長、無所属クラブ・水野代表、維新・今井幹事長、民主・枝野幹事長、共産・山下書記局長、社民・吉川幹事長代行=19日、東京都千代田区

るデモや集会が、各地で勢いを増しています。総がかり行動実行委員会が呼びかけた、戦争法強行を忘れず、必ず廃案にするとの「19日行動」をはじめ、レッドアクションやスタンディングアピールなど、主権者としての意思を示すさまざまな形態で取り組まれています。

2回目の「19日行動」は、国会正門前とともに、全国で予定されています。

19日には、総がかり行動実行委や、SEALDs（シールズ）、学者の会、ママの会など安保法制に反対する諸団体と5野党との2回目の意見交換会も開かれます。

総がかり行動実行委をはじめ29団体のよびかけによる「戦争法の廃止を求める」統一署名を2000万人分集める壮大な国民運動も始まりました。総がかり行動実行委を構成する憲法共同センターの運営委員会は17日、「2000万人署名を成功させ、戦争法廃止、安倍政権を退陣に追い込もう！」と題した「全国へのアピール」を発表しました。

運営委員会の構成団体では、日本共産党が1000万人、全日本民医連が300万人、全商連が200万人、新日本婦人の会が100万人、全労連が組合員1人10人以上を、目標にしています。

全国へのアピールは、「各団体で職場・地域の署名目標を決め、共同して励ましあって推進」をと訴えています。街頭での宣伝行動とともに、地域の一軒一軒を訪問する活動なども呼びかけています。

赤旗 2015年11月15日(日)

「野党は共闘」 膨らむ声援

名古屋で3500人 シールズ東海が宣伝

JR名古屋駅西口で14日、SEALDs TOKAI（シールズ東海＝自由と民主主義のための東海学生緊急行動）による安保法制に反対する街頭宣伝が行われました。日本共産党、民主党、維新の党、社民党の野党4党代表があいさつし、がっちり手を握って掲げると「野党は共闘♪野党はがんばれ」と大声援に包まれ、主催者発表で同地域最大3500人が戦争法廃止へ思いを一つにしました。

雨にもかかわらず時間を追うごとに大学生や高校生、ママたちの輪が広がり、駅前広場は「本気で戦争法つぶして」「沖縄を守れ」と熱



(写真) SEALDs TOKAI の駅前宣伝で参加者とコールする野党各党の代表ら。壇上右から2人目は志位委員長＝14日、愛知・名古屋駅西口

気に包まれました。

シールズ東海から2人がスピーチ。

名古屋市の大学1年生（18）が「他国の戦争に首を突っ込んで、積極的平和なんて言葉の使い方が間違っています。野党にお願いしたいです。どうか無謀な日本の航海を止めてください。そのために野党が垣根を越えて協力してください」と訴えると、「そうだっ」と力強い声援が飛びます。

岡歩美さん（24）は「1週間前、初めて辺野古に行きました。沖縄県民は“オール沖縄”で結果を出してくれました。今度は本土が結果を出し、現政権を退陣に追い込みましょう」と思いの丈をぶつけました。

多くの通行人もスマホで撮影。人垣がどんどん膨らむ中、シールズの諏訪原健さん（筑波大院生）、安保関連法に反対するママの会発起人の西郷南海子さん、山口二郎法政大教授が連帯あいさつしました。

志位氏ら4野党訴え

「野党は共闘」の声がかかる中、日本共産党の志位和夫委員長ら野党4党の代表らが登壇。4氏が壇上で手を取り合うと、その声は大きなコールとなりました。

志位委員長は「未来は若者のもの。力を合わせて、憲法の立憲主義・民主主義・平和主義が貫かれる新しい政治をつくろう」と訴えました。

民主党の福山哲郎参院議員は「野党が共闘し、参院選で勝利するために力を貸してほしい」と力を込めました。維新の党の初鹿明博衆院議員、社民党の山としひろ愛知県連合常任幹事（江南市議）も野党共闘の必要性を訴えました。